

令和4年度 日南町立日南中学校 経営方針

1 こども園（学校）経営の基本理念

- (1) 「子どもの権利条約」の4つの原則「命を守られ成長できること」、「子どもにとって最もよいこと」、「意見を表明し参加できること」、「差別のないこと」を尊重し、すべての子どもの人権を第1に考えた保育・教育を積み重ねていきます。
- (2) 「日南町園・学校運営協議会」の設置により、各園・学校に保護者や地域住民が参画することを通して、「地域とともにある学校づくり」を行い、日南町ならではの創意工夫された特色ある園・学校づくりを推進していきます。
- (3) 「日南町の子どもの教育在り方検討会答申」の具現化に向け、「持続可能なふるさと日南」を創る1歳からのカリキュラムの在り方を検討し、1歳から18歳までの教育内容の充実に向けた「オール日南」の協働的な教育環境を整えていきます。
- (4) 「日南町こども園・小学校・中学校一貫教育（学び舎にちなん）」を実践し、組織的に「学び続ける力」「関わり合う力」「ふるさとを愛する心」の育成をめざし、各発達段階に応じて、意図的・計画的で科学的根拠のある教育実践を園・学校と家庭・地域が協働して展開していきます。

2 日南町教育目標

「ふるさとを愛し、豊かな人間性と生き抜く力を育み、
持続可能な未来を創造する優れた人材を育成する」

3 校（園）訓

『生き抜く力』
～ 見つめよ自己を 求めよ友を 惜しむな汗を ～

4 本（園）校教育目標

「ふるさとに学び、夢に向かい、生き生きと輝く子どもの育成」

5 めざす（園）学校像

- (1) 夢や目標に向かって努力し、お互いの人権を尊重し、仲間と協働できる子ども
- (2) 子どもの成長を園・学校と連携をとりながら、一緒に見守り支えていける保護者
- (3) 地域全体で日南の子どもの成長に関わっていける地域住民
- (4) 教師としての誇りを持ち、自ら研鑽を積む教職員

6 めざす生徒像

- *学び続ける人・・・努力を惜しまず、学力向上を目指す生徒
- *思いやる人・・・基本的人権を尊重し、礼儀を重んじる生徒
- *やり抜く人・・・最後まであきらめず、心身を鍛える生徒

7 めざす教職員像

- (1) 強みを活かして、協働する教職員
- (2) 子どもの可能性を信じ、最後まで粘り強く指導する教職員
- (3) 子どもや保護者、地域の願いを受け止める教職員

8 経営のテーマ（キャッチフレーズ・キーワード）

『 チームにちなん 支え合い 』

～ネットワーク・フットワーク・チームワークを活かし、情報共有、共通実践～

9 教育目標実現化のための重点事項及び具体的な方策

基本理念のもと、日南町の将来・未来を担って生きる人材の育成を目指します。

夢や目標に向かって努力する力、お互いの人権を尊重し、仲間と協働できる力、社会の一員として自覚をもって行動できる力、ふるさとの良さや課題に目を向け、主体的に解決に向けて取り組む力の育成に努めます。

（重点事項１）

○自他を大切にする（関わり合う力）

- ・人はみな違うことを理解し、よさや弱さを認め合う

自分の良さ、弱さが安心して出せる、分からない、困った、どうした？と言える

- ・集団活動を通して感動や一体感を共有し合うことによって、生徒一人ひとりの自己有用感、自己肯定感、自尊感情を高める

自分の役割を自覚し、お互いの立場を尊重し、サポートし合って取り組み、努力を認め合う

- ・生徒一人ひとり、教員一人ひとりに寄り添える教員チーム

→ 生徒も教員もやりがい、充実感がもてる（楽しい学校生活、職場）自他を大切にする集団

- ・日々の生活の中で、人権尊重の精神と行動が生かされる指導や支援を継続して行い いじめ等の未然防止、早期発見、迅速対応を行う。

(重点事項2)

○「基礎学力」の定着から個々の「レベルアップ」への取り組み（学び続ける力）

- ・ P. T (パワーアップタイム) ・ L. P. T (ロングパワーアップタイム) の放課後補習による基礎・基本の徹底と学習意欲の高揚に繋げるレベルを上げた課題設定を行う
- ・ 全員が「わかった」「できた」と実感できる授業改善を進める
- ・ 授業を開き、教職員皆が見合い学び合う
- ・ 「主体的で対話的、深い学び」の目的の確認・次の一手を共有して、チームで動く

(重点事項3)

○特色ある教育活動の展開（ふるさとを愛する心）

- ・ 日南町版園小中一貫教育の推進（理念の共有、園小中の特性や発達段階を生かし、子どもの学びや育ちの継続性や系統性を持った実践を行う）
- ・ ふるさと教育（日南学）の方向性の推進（ふるさとキャリア学習、森林学習）
- ・ 地域での中学生の存在を生かし活動を積極的に行うと共に、情報発信を行いながら、町活性化の一翼を担う
学校行事など「地域への貢献」を意識する
- ・ I C Tを活用した教育方法の開発、充実、効果的な活用